

漢文参考年表

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品	時代	参考事項 (人名のあとの数字は没年。)
前 一六〇〇 ?	夏	禹、黄河の水を治めて即位。	禹王・桀王	縄文式文化時代	
前 一〇五〇 ?	殷	湯王、夏の桀王を滅ぼして即位。 亀甲獣骨(甲骨)文字。	湯王・紂王・西伯(周の文王)		エジプト古王国時代 (前二〇〇〇ころ)。
前 七七〇	西周	武王発(文王の子)、殷の紂王を滅ぼして即位。 太子紂、籒文(大篆)を作る。 幽王、犬戎に殺され、西周滅ぶ。	周公旦・太公望(呂尚) 伯夷・叔齊		トロイ戦争終結(前二一八四)。 ローマ帝国建国(前七五三)。
前 四〇三	周	平王、東遷。 五霸の抗争(斉の桓公・晋の文公・楚の荘公・宋の襄公・秦の穆公)。 呉越の争い。	管仲(?-前六四五)『管子』 鮑叔牙(?) 晏嬰(?-前五〇〇)『晏氏春秋』? 老子(?-『老子』)		ペルシャ帝国、全オリエント 統一(前五二五ころ)。 ソクラテス (前四七〇-前三九九)。
前 三三三	東周	孔子、「易」・詩・書・春秋を修定。 晋、韓・魏・趙に分裂。 戦国の七雄の抗争(斉・楚・燕・韓・魏・趙・秦の七国)。 諸子百家の活躍。 屈原、汨羅に投身自殺(前二七七?)。 戦国の四君(斉の孟嘗君・趙の平原君・楚の春申君・魏の信陵君)の活躍。	孔子(前五五一-前四七九)『論語』(四書の二)『詩経』(五経の二) 曾子(孔子の門人。前五〇五-前四三三)『孝経』 子思(孔子の孫。前四九二?-前四三三)『中庸』(四書の二) 左氏(一説に左丘明。?)『春秋左氏伝』 墨子(前四六八?-前三七六?)『墨子』 孟子(前三七二-前二八九)『孟子』 列子(?)『列子』 莊子(?)『莊子』 商鞅(前二三三-前二三一)『蘇秦』(前二二七)『張儀』(前二〇九) 屈原(前三三四?-前二七七?)『楚辞』 荀子(前三一三?-前二三八?)『荀子』 呂不韋(前二三三-前二三二)『呂氏春秋』 宋玉(前二九〇-前二三三) 韓非子(前二三三-前二三二)『韓非子』 荊軻(前二二七)		インド、マウリア朝、アショカ 王(前二七三-前二三三)。

西暦	前 三 前 二〇六	紀元	二五 九	三〇	二五	
時代	秦	前漢	新	後漢	魏・呉・蜀 (三国時代)	
史実・学芸事項	<p>秦王政(始皇帝。前二九九―前二一〇)、天下統一。郡県制の採用、度量衡の統一。万里の長城の一部を築く。</p> <p>焚書坑儒(前二一三―前二一〇)。</p> <p>陳勝・呉広の乱(二〇九)。漢楚の興亡。</p>	<p>劉邦(高祖)、項羽を垓下に破り即位。</p> <p>扶書の律(民間人が書物を所有することを禁じた法)が解かれる(前一九一)。</p> <p>呉楚七国の乱(前一五四)。</p> <p>初めて年号を制定(前一四〇)。武帝の建元元年。</p> <p>五経博士を置き、儒教を国教と定める(前三六)。</p> <p>蘇武、匈奴に使いし(前二〇〇)、李陵、匈奴に降る(前九九)。</p> <p>辞賦の盛行。</p>	<p>王莽(？―一三)、帝位を奪う。</p> <p>劉秀(光武帝。前六一―五七)、漢室を再興。</p> <p>仏教伝来(六七)。</p> <p>蔡倫、紙を発明(一〇五)。</p> <p>党錮の獄(一六六)。</p> <p>黄巾の乱(一八四)。</p> <p>赤壁の戦い(二〇八)。</p>	<p>魏の曹丕(曹操の子、文帝)、献帝を廃し即位。</p> <p>蜀の劉備、呉の孫権、それぞれ帝位につき、三国鼎立。</p> <p>建安の七子(孔融・陳琳・王粲・徐幹・応瑒・阮瑀・劉楨)の活躍。</p> <p>諸葛亮、出師表を奉る。</p> <p>清談の流行。竹林の七賢(阮籍・嵇康・山濤・向秀・劉伶・王戎・阮咸)。</p>	<p>李斯(？―前二〇八)</p> <p>陳勝(？―前二〇八)</p> <p>呉広(？―前二〇八)</p> <p>項羽(前二三―前二〇二)</p> <p>范增(前二七五―前二〇四)</p> <p>劉邦(前二四七―前一九五)</p> <p>韓信(？―前一九六)</p> <p>蕭何(？―前一九三)</p> <p>張良(？―前二八九)</p> <p>陳平(？―前二七八)</p> <p>賈誼(前二〇二―前一九九)</p> <p>『新書』</p> <p>枚乘(？―前二四〇)</p> <p>司馬相如(前二七九―前二二七)</p> <p>劉安(？―前二三二)</p> <p>淮南子</p> <p>張騫(？―前二四)</p> <p>董仲舒(前二七六―前二〇六)</p> <p>春秋繁露</p> <p>武帝(前二五六―前八七)</p> <p>東方朔(前五四―前九九)</p> <p>司馬遷(前二四五―前八七)</p> <p>『史記』</p> <p>李陵(？―前七四)</p> <p>蘇武(？―前六〇)</p> <p>王昭君(？)</p> <p>劉向(前七七―前六)</p> <p>『戰國策』</p> <p>『說苑』</p> <p>揚雄(前五三―前一八)</p> <p>『法言』</p> <p>劉歆(前五三―一三)</p> <p>『七略』</p>	<p>桓譚(前二四―五六)</p> <p>『新論』</p> <p>王充(二七―九七)</p> <p>『論衡』</p> <p>許慎(三〇―二四)</p> <p>『說文解字』</p> <p>班固(三三―九二)</p> <p>『漢書』</p> <p>張衡(七八―一三九)</p> <p>王逸(九〇―一四五)</p> <p>『楚辭章句』</p> <p>鄭玄(二七―一〇〇)</p> <p>『毛詩鄭箋』</p> <p>『詩經』の注釈書</p> <p>蔡邕(一三二―一九二)</p> <p>曹操(武帝。五五―一三〇)</p> <p>劉備(六一―二三)</p> <p>王粲(七七一―二七七)</p> <p>諸葛亮(字は孔明。一八一―一三五)</p> <p>孫権(一八二―二五二)</p> <p>曹丕(二八七―三二六)</p> <p>曹植(一九一―二三三)</p> <p>『曹子建集』</p> <p>何晏(一九〇―二四九)</p> <p>『論語集解』</p> <p>王肅(二九五―二五〇)</p> <p>『孔子家語』</p> <p>山濤(二〇五―二八三)</p> <p>阮籍(二〇一―二六三)</p> <p>劉伶(二二一―三〇〇)</p> <p>嵇康(二三一―二六二)</p> <p>王弼(二六二―二四九)</p> <p>『老子注』</p>
人と作品	弥生式文化時代					
時代	弥生式文化時代					
参考事項 (人名のあとの数字は没年)	<p>「旧約聖書」成る(前六五〇ころ)。</p> <p>朝鮮に新羅建国(前五七)。</p> <p>朝鮮に高句麗建国(前三七)。</p> <p>任那に日本府を置く(前三三ころ)。</p> <p>倭奴国、後漢に使者を送る(五七)。</p> <p>邪馬台国女王卑弥呼、使者を魏に送る(二三)。</p>					

二五	三七	三八	四〇	四九	五〇	五三	五五	五七	五九	六八			
南北朝													
		北周			北齐			西魏・東魏・北魏 (北)					
		陳			梁			齊					
					宋 (南)			東 晋					
								西 晋					
楊堅(文帝。五四―一六〇四)天下を統一。 科挙制度実施。 万里の長城構築。大運河の開通。		陳霸先(陳の武帝。五〇三―五五九)即位。 西魏の侵寇。 侯景の乱。			蕭道成(齊の高帝。四七―四八二)即位。 蕭衍(梁の武帝)即位。 仏教の隆盛。 宮体詩の盛行。			劉裕(宋の武帝。三五六―四二三)即位。 南北朝の対立。 鳩摩羅什が『法華経』他、多数の仏典を漢訳(四二三)。 四六駢儷文の盛行。			司馬炎(武帝。二三六―二九〇)、魏の帝位を奪う。 八王の乱(三〇〇―三〇六)。 五胡十六国の乱始まる(三〇四)。 永嘉の大乱。漢人の南渡。		
楊帝(五八〇―六一八) 陸法言(?)『切韻』 陸德明(五五六―六一七)『經典釈文』		蕭子顯(四八九―五三七)『南齊書』 蕭統(昭明太子。五〇一―五三三)『文選』 蕭綱(簡文帝。五〇三―五五五) 徐陵(五〇七―五八三)『玉台新詠』 庾信(五二―五八二) 顧野王(五一九―五八二)『玉篇』 宗懐(四九八?―五六一?)『荊楚歲時記』 顔之推(五三二?)『顔氏家訓』			任昉(四六〇―五〇九)『述異記』 劉勰(四六五?―五一五)『文心雕龍』 鍾嶸(四六九―五八?)『詩品』 酈道元(四六九?―五七七)『水經注』 斛律金(四八八―五六七) 蕭子良(童陵王。四九九―四九四) 謝朓(四六四―四九九) 沈約(四四一―五一三)『宋書』『四声譜』 顏延之(三八四―四五六) 謝靈運(三八五―四三三) 謝惠連(三九七―四三三) 范曄(三九八―四四五)『後漢書』 劉義慶(四〇三―四四四)『世說新語』 鮑照(四〇五―四六五) 蕭子良(童陵王。四九九―四九四) 謝朓(四六四―四九九)			郭璞(二七六―三三四)『爾雅注』 干宝(?)『搜神記』 王羲之(三二―三七九)『蘭亭集序』 桓温(三二―三三七) 謝安(三二〇―三八五) 慧遠(三三四―四二七) 鳩摩羅什(三四四―四三三) 顧愷之(三四五―四〇六) 桓玄(温の子。三六九―四〇四) 陶潛(字は淵明。三六五―四二七)『陶淵明集』			皇甫謐(二五二―二八二)『高士伝』 傅玄(二七―二七八) 杜預(三二―二八四)『春秋左氏伝集解』 張華(三一―三〇〇)『博物志』 陳寿(三三一―二九七)『三国志』 潘岳(四七―三〇〇) 左思(二五〇?―三〇五?)『三都賦』 陸機(二六一―三〇三) 郭象(二五二?―三二二)『莊子注』 葛洪(二八四―三六四)『抱朴子』『神仙伝』		
大和時代													
聖徳太子、摂政となる(五九三)。 法隆寺建立(五九六)。 「十七条憲法」制定(六〇四)。 小野妹子、隋に派遣(六〇七)。		百濟から仏教伝来(五三八)。 百濟の王仁来朝、『論語』千字文を献す。 日本、百濟・新羅に出兵(三九)。											

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品
六八	初唐	李淵(高祖。五六六―六三五)、即位。長安に都する。 太宗(李世民。五九八―六四九)、即位。貞観の治。 近体詩形の確立。 僧玄奘、インドへ出発(六二九)。 則天武后(六三二―七〇五)、即位(六八五)。	歐陽詢(五五七―六四二)『芸文類聚』 虞世南(五五八―六三三)『北堂書鈔』 孔穎達(五七四―六四八)『五経正義』魏徵(五八〇―六四三)『群書 治要』顏師古(五八二―六四五)『漢書注』褚遂良(五九六―六五八) 玄奘(六〇二―六六四)『大唐西域記』盧照鄰(六四〇―六八〇) 駱賓王(六四〇?―六八四) 李善(六〇九?―六八九)『文選注』 王勃(六四八―六七五) 劉希夷(六五一―六七八?) 宋之問(六五六?―七二二) 沈佺期(六五六?―七二四) 賀知章(六五九―七四四) 陳子昂(六六一―七〇二) 張鷟(六五七―七三〇)『遊仙窟』張說(六六七―七三〇) 張九齡(六七三―七四〇) 李林甫(六七五―七五二)『唐六典』 王翰(六八七?―七二六?) 王之渙(六八八―七四二) 孟浩然(六八九―七四〇) 王維(六九九?―七五九?)『王右丞集』 王昌齡(七〇〇?―七五五?) 李白(七〇一―七六二)『李太白集』 崔顥(七〇四―七五四) 高適(七〇七?―七六五) 常建(七〇八?) 顏真卿(七〇九―七八五) 杜甫(七一二―七七〇)『杜工部集』 岑參(七一一―七七〇) 元結(七一九―七七二) 李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三二―七八〇?) 張繼(?) 杜佑(七三五―八一二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四) 韓愈(七六八―八二四)『韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三) 白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七二―八四二) 柳宗元(七三三―八一八)『柳河東集』 白居易(七七五?―八六三)『李娃伝』 元稹(七七九―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八三三) 李賀(七九一―八一七) 許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 温庭筠(八二二―八七二) 李商隱(八二二―八八五)『李義山集』 段成式(?)『八六三』『西陽雜俎』 高駘(?)『八八七』 孟棻(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八) 司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八) 韓偓(八四四―九三三)『香奩集』
七三	盛唐	大詩人輩出。 辺塞詩起る。 伝奇小説の流行。 安史の乱(安祿山、?―七五七。史思明、?―七六二)起る(七五五)。 節度使の権勢が強まる。 古文復興の運動。	李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三二―七八〇?) 張繼(?) 杜佑(七三五―八一二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四) 韓愈(七六八―八二四)『韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三) 白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七二―八四二) 柳宗元(七三三―八一八)『柳河東集』 白居易(七七五?―八六三)『李娃伝』 元稹(七七九―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八三三) 李賀(七九一―八一七) 許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 温庭筠(八二二―八七二) 李商隱(八二二―八八五)『李義山集』 段成式(?)『八六三』『西陽雜俎』 高駘(?)『八八七』 孟棻(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八) 司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八) 韓偓(八四四―九三三)『香奩集』
七六	中唐	牛李(牛僧孺、七七八―八四三。李德裕、七八四―八四九)の党争。 唯美的・技巧的な詩風の流行。	李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三二―七八〇?) 張繼(?) 杜佑(七三五―八一二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四) 韓愈(七六八―八二四)『韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三) 白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七二―八四二) 柳宗元(七三三―八一八)『柳河東集』 白居易(七七五?―八六三)『李娃伝』 元稹(七七九―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八三三) 李賀(七九一―八一七) 許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 温庭筠(八二二―八七二) 李商隱(八二二―八八五)『李義山集』 段成式(?)『八六三』『西陽雜俎』 高駘(?)『八八七』 孟棻(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八) 司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八) 韓偓(八四四―九三三)『香奩集』
八三	晩唐	木版印刷の発明。	李瀚(?)『蒙求』 錢起(七三二―七八〇?) 張繼(?) 杜佑(七三五―八一二)『通典』 韋處物(七三七―八三〇?) 沈既濟(?)『沈中記』 孟郊(七五一―八一四) 韓愈(七六八―八二四)『韓昌黎集』 張籍(七六八―八三〇?) 薛濤(七六八―八三三) 白居易(七七二―八四六)『白氏文集』 劉禹錫(七七二―八四二) 柳宗元(七三三―八一八)『柳河東集』 白居易(七七五?―八六三)『李娃伝』 元稹(七七九―八三三)『鶯鶯伝』 賈島(七七八―八三三) 李賀(七九一―八一七) 許渾(七九一―八五四?) 杜牧(八〇三―八五二)『樊川文集』 于武陵(八一〇?) 温庭筠(八二二―八七二) 李商隱(八二二―八八五)『李義山集』 段成式(?)『八六三』『西陽雜俎』 高駘(?)『八八七』 孟棻(?)『本事詩』 韋莊(八三六―九〇八) 司空圖(八三七―九〇八)『二十四詩品』 魚玄機(八三四―八六八) 韓偓(八四四―九三三)『香奩集』
時代	参考事項 (人名のあとの数字は没年。)	大和時代	第一回遣唐使を派遣(六三〇)。 大化の改新・わが国年号の初め(六四五)。
七〇	奈良時代	平安時代	大宝律令制度(七〇二)。 平城京へ遷都(七〇〇)。 『古事記』(七二二)。 『日本書紀』(七二〇)。 東大寺建立(七四九)。 『懷風藻』(七五二)。 唐僧鑑真来朝(七五四)。 『万葉集』(七五九以後)。 阿倍仲麻呂、唐にて没(七七〇)。 平安京に遷都(七九四)。 勅選二集成る。 『淡雲集』(漢詩集、八一四) 『文華秀麗集』(漢詩集、八二六) 『経国集』(漢詩文集、八三七) 空海『文鏡秘府論』(八二〇) 『白氏文集』の伝来。 遣唐使廃止(八九四)。 菅原道真『菅家文章』(九〇〇) 『菅家後集』(九〇三)。

九〇七	五代	朱全忠(八五二-九二二)、哀帝を廢して即位、後梁を建国。 五代十国の興亡。	劉昫(八七二-九四六)、『旧唐書』 趙崇祚(?)、『花間集』 李璟(南唐中主。九二六-九六二) 李煜(南唐後主。九三九-九七六)
九〇六	丹	趙匡胤(太祖。九七二-九七六)、即位。 木版印刷技術が発達し、大規模な書物(『太平御覽』 『冊府元龜』)などが刊行される。	李昉(九三二-九九六)、『文苑英華』『太平御覽』『太平広記』 樂史(九三〇-一〇〇七)『太平寰宇記』 王欽若(九六一-一〇二五) 『冊府元龜』 林通(九六七-一〇二八) 范仲淹(九八九-一〇五二) 歐陽脩(一〇〇七-一〇七二)『新唐書』 蘇軾(一〇九一-一〇六一) 周敦頤(一〇七二-一〇七三)『太極図説』 曾鞏(一〇九一-一〇八三) 司馬光(一〇九一-一〇八六)『資治通鑑』 張載(一〇二〇-一〇七七) 王安石(一〇二一-一〇八六) 沈括(一〇三二-一〇九四)『夢溪筆談』 程顥(明道。一〇三二-一〇八五) 程頤(伊川。一〇三三-一〇七七) 蘇軾(東坡。一〇三六-一〇八〇)『蘇東坡全集』 蘇轍(一〇三九-一一二二) 黃庭堅(山谷。一〇四五-一一〇五) 陳師道(一〇五三-一一〇二) 克勤(一〇六三-一一三五)『碧巖録』 李清照(一〇八四-一一二五?) 郭茂倩(?)『樂府詩集』
九〇五	契	宋学(理学・程朱の学)の発達。 宋江の反乱(一一二〇)。 金、遼を滅ぼす。	計有功(?)『唐詩紀事』 岳飛(一一〇三-一一四一) 陸游(一一一五-一一七〇)『劍南詩稿』『入蜀記』 范成大(一一二六-一二九三) 楊万里(一一二七-一二〇六) 朱熹(一一三〇-一二〇〇)『四書集注』『近思録』 呂祖謙(一一二七-一二八二) 陸象山(一二九一-一二九二) 辛棄疾(一二〇一-一二七二) 成吉思汗(一二二六-一二三二) 耶律楚材(一二二九-一二四四) 元好問(一二一〇-一二五七) 周弼(?)『三體詩』 嚴羽(?)『滄浪詩話』 謝枋得(一二三六-一二八九)『文章軌範』 黃堅(?)『古文真寶』 文天祥(一二三六-一二八二)
九〇四	金	金の侵入(靖康の難)。臨安に遷都(宋の南渡)。 朱子学の隆盛。 金、宋・蒙古の連合軍のため滅亡。	方回(一二三七-一三〇六) 曾先之(?)『十八史略』 マルコ・ポーロ『東方見聞録』 関漢卿(?)『竇娥冤』 馬致遠(?)『漢宮秋』 馬端臨(?)『文獻通考』 辛文房(?)『唐才子伝』
九〇三	南	忽必烈(元の世祖。一二二五-一二九〇)即位。 イタリール人マルコ・ポーロ、大都(北京)に至り(一二七五)、 十七年間滞留。	鎌倉時代
九〇二	元	元、中国を統一。 元曲(戯曲)の盛行。 科挙制度の廃止(一二三三-一二三五)。 紅巾の乱(一二三五-一二三六)	平安時代 『古今和歌集』(九三三ころ) 紀貫之(九四五)『土佐日記』 神聖ローマ帝国成立(九六二)。 『枕草子』『源氏物語』(一〇〇〇ころ) 『和漢朗詠集』(一〇一三?) 『本朝文料』(一〇四五?) 第一回十字軍遠征(一〇九六)。 西行(一一九〇)『山家集』 源頼朝、鎌倉幕府開く。 『新古今和歌集』(一二〇五) 鴨長明(一二二六)『方丈記』 『平家物語』 文永・弘安の役(一二七四-一二八二)。 ダンテ『神曲』(一二三〇七) 足利尊氏、室町幕府開く。 吉田兼好(一二三二?)『徒然草』
九〇一	元		

西暦	時代	史実・学芸事項	人と作品	時代	参考事項 (人名のあと) (数字は没年)
一三六八	明	朱元璋(太祖)。一三六八―一三九八即位。 科学制度の復活(一三八五)。 靖難の変(一三九九)。 小説の隆盛―四大奇書。 土木の変(一四九九)。 銅活字印刷の盛行。 王陽明、知行合一を説き、陽明学を開く。 東林党の政争(一六一)。 後金の建国。	高啓(一三三六―一三七四) 施耐庵(？) 『水滸伝』 羅貫中(？) 『三国志演義』 瞿佑(一三四一―一四二七) 『剪燈新話』 方孝孺(一三五七―一四〇二) 陳獻章(一四一八―一五〇〇) 王陽明(一四七二―一五二八) 『伝習録』 李夢陽(一四七五―一五五九) 吳承恩(一五〇〇?―一五八二) 『西遊記』 楊有光(一五〇六―一五七二) 李攀竜(一五四四―一五七〇) 『古今詩刪』 李時珍(一五一八―一五九三) 『本草綱目』 王世貞(一五二一―一五九〇) 『金瓶梅』? 李贄(卓吾) 一五七二―一六〇二 湯顯祖(一五五〇―一六一七) 『牡丹亭還魂記』 徐光啓(一五六二―一六三三) 『農政全書』 袁宏道(一五六八―一六一〇) 洪応明(？) 『菜根潭』	室町時代	五山文学の隆盛。 虎関師錬(一三四六) 『元亨釈書』 義堂周信(一三八八) 『空華集』 絶海中津(一四〇五) 『蕉豎稿』 足利学校再興(一四三九)。 グーテンベルグ、活版印刷術 發明(一四五〇ころ)。 豊臣秀吉、天下統一(一五九〇)。 徳川家康、江戸幕府開く。
一六四四	清	世祖(順治帝)。一六三八―一六六二、李自成を追放、中国に君臨。 鄭成功(一六四一―一六六二)、台湾に拠って明の回復を計る。 康熙帝(一六五四―一七二二)・乾隆帝(一七二二―一七九九)、学術・出版を奨励。 考証学盛行。 白蓮教の乱。 阿片戦争。	黄宗羲(一六一〇―一六九五) 『明儒学案』 顧炎武(一六二一―一六八二) 『日知録』 蒲松齡(一六三〇―一七〇五) 『聊齋志異』 王士禛(一六三四―一七二二) 『唐賢三昧集』 彭定求(一六四一―一七一九) 『全唐詩』 康熙帝(一六五四―一七二二) 『康熙字典』 沈德潜(一六七三―一七六九) 『唐宋八家文読本』 『唐詩別裁』 吳敬梓(一七〇一―一七五四) 『儒林外史』 張玉穀(？―一七七二) 『古詩賞析』 乾隆帝(一七二二―一七九九) 『四庫全書』 曹雪芹(？―一七四〇?―一七六三) 『紅樓夢』 段玉裁(一七五二―一八二五) 『說文解字注』 王念孫(一七四一―一八三三) 『廣雅疏証』 阮元(一七六四―一八四九) 『經籍叢話』 林則徐(一七八五―一八五〇) 劉宝楠(一七九一―一八五五) 『論語正義』 龔自珍(一七九二―一八四二) 魏源(一七九四―一八五七) 『海國圖志』 曾國藩(一八一―一八七二) 黄遵憲(一八四一―一八九五) 『日本国志』	江戸時代	アメリカ独立宣言(一七七六)。 寛政異学の禁(一七九〇)。 本居宣長(一八〇三) 『頼山陽(一八三三)』 広瀬淡窓(一八五六)・佐藤一斎(一八五九) 明治維新(一八六八)。
一六六二	清	太平天国の乱。 日清戦争。 義和団の乱。 辛亥革命。	康有为(一八五八―一九二七) 章炳麟(一八六六―一九三六) 梁啓超(一八七三―一九一九) 王国維(一八七二―一九二七) 陳独秀(一八七九―一九四二) 魯迅(一八八一―一九三六) 『呐喊』 胡適(一八九一―一九六二) 郭沫若(一八九二―一九七八) 林語堂(一八九五―一九七〇) 『北京好日』 郁達夫(一八九六―一九四五) 茅盾(一八九六―一九八〇) 老舍(一八九一―一九六七) 聞一多(一八九九―一九四六)	明治	日露戦争(一九〇四―一九〇五)。 夏目漱石(一九〇六)。 第一次世界大戦(一九一四―一九一八)。 森鷗外(一九三三)。 満州事変(一九三三)。 第二次世界大戦(一九三九―一九四五)。 東京オリンピック(一九六四)。 日中国交回復(一九七二)。
一六八〇	清	日清戦争。	八六八	昭和	
一八八〇	清	日清戦争。	八六八	昭和	
一八九九	清	義和団の乱。	八六八	昭和	
一九〇二	清	辛亥革命。	八六八	昭和	
一九二二	清	孫文(一八六六―一九二五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八六〇―一九二六)、大總統に就任(一九二二)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和国成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	一九三	大正	
一九二七	清	孫文(一八六六―一九二五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八六〇―一九二六)、大總統に就任(一九二二)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和国成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	一九三	大正	
一九四九	清	孫文(一八六六―一九二五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八六〇―一九二六)、大總統に就任(一九二二)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和国成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	一九三	大正	
一九六七	清	孫文(一八六六―一九二五)、臨時大總統に就任。 袁世凱(一八六〇―一九二六)、大總統に就任(一九二二)。 文学革命(白話運動)。 五・四運動(一九一九)。 中華人民共和国成立。毛沢東、主席。 文化大革命。	一九三	大正	